

家庭ごみ分別と有料指定袋制に関する調査
結果報告書

新 潟 市

< 目 次 >

I 調査概要	1
1. 調査の目的	3
2. 調査の項目	3
3. 調査の設計	3
4. 集計・分析にあたって	3
5. 回収結果	4
6. 回答者の特性	5
II 調査結果	7
1. 家庭ごみの分別及び有料指定袋制について	9
（1）ごみ分別への取組み状況	9
（2）今後のごみ分別制度について	10
（3）『生ごみ』の分別について	11
（4）ごみの出し方などについて	12
（5）有料指定袋の価格について	13
（6）家庭ごみ有料化による収入の市民還元について	14
（7）市民還元事業について	15
（8）これから実施する事業の周知方法について	21
（9）市民還元事業について	22
（10）有料化財源の新たな活用方法について	24
（11）有料化財源の活用方法として基金による運用について	25
（12）自由回答まとめ	27

I 調 査 概 要

1. 調査の目的

この調査は、市民の家庭ごみ分別の実態や有料指定袋制への考え方等を把握し、今後の家庭ごみ処理運営の基礎資料を得る目的で実施する。

2. 調査の項目

- (1) 対象者属性
＜本質問 7 問 補助質問 1 問＞
- (2) 家庭ごみの分別及び有料指定袋制について
＜本質問 12 問 補助質問 4 問＞

3. 調査の設計

- (1) 調査地域：新潟市全域。
- (2) 調査対象：平成 26 年 4 月末現在の住民基本台帳に登録されている 20 歳以上の市民。
- (3) 標本数：4,000 人。
- (4) 抽出方法：層化二段系統抽出法
(電子計算機マスターファイルからの等間隔抽出)。
- (5) 調査方法：郵送法（調査票の配付、回収とも）。
- (6) 調査期間：平成 26 年 6 月 2 日～6 月 13 日（調査票上の締切日）。
※6 月 20 日返送分までを集計へ含めた。

4. 集計・分析にあたって

- (1) 図表中の「n」とは回答者総数（または該当者質問での該当者数）のことで、100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。
- (2) 数値（%）は単位未満を四捨五入してあるので、総数と内訳の計が一致しないこともある。
- (3) 本文及び図表中、意味をそこなわない範囲で簡略化した選択肢がある。

5. 回収結果

(1) 区（行政区）について

新潟市は平成19年4月の政令指定都市移行にともない8つの区（行政区）を設置している。

今回の調査では、対象者の居住地を8つの「区（行政区）」に分け、集計・分析を行った。

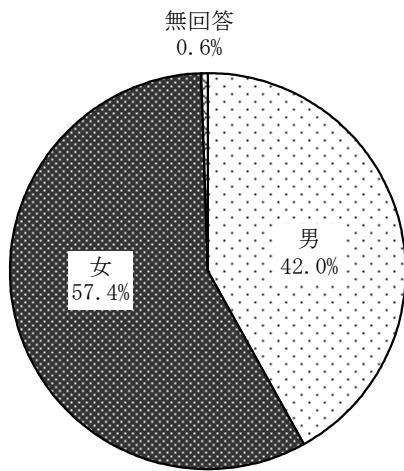
(2) 回収結果

	母集団 (人)	母集団 構成比	標本数 (人)	有効 回収数※	有効 回収率
市全体	665,599	100.0%	4,000	1,970	49.3%
北区	63,112	9.5%	378	154	40.7%
東区	114,642	17.2%	689	330	47.9%
中央区	147,808	22.2%	886	455	51.4%
江南区	56,730	8.5%	342	172	50.3%
秋葉区	64,548	9.7%	389	203	52.2%
南区	38,619	5.8%	233	106	45.5%
西区	129,824	19.5%	779	400	51.3%
西蒲区	50,316	7.6%	304	136	44.7%
区名無回答				14	

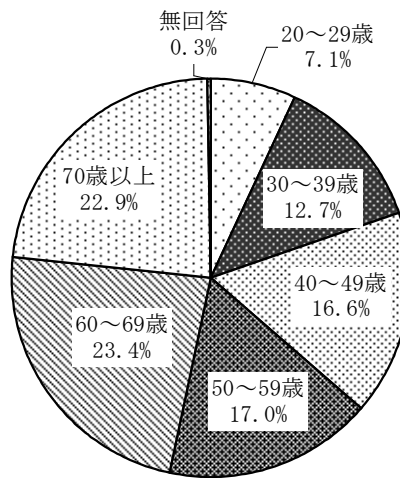
※白票（無効票）3票は除外。

6. 回答者の特性

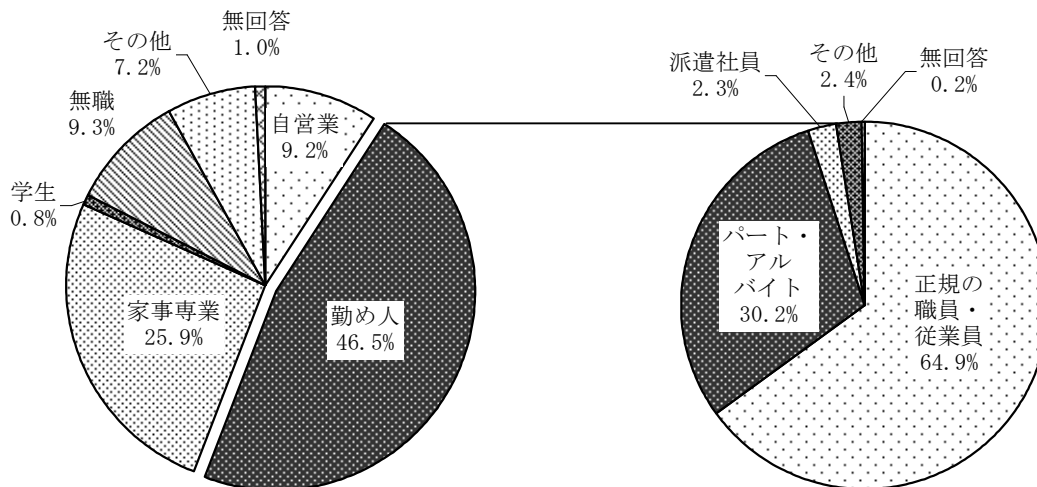
◆性別



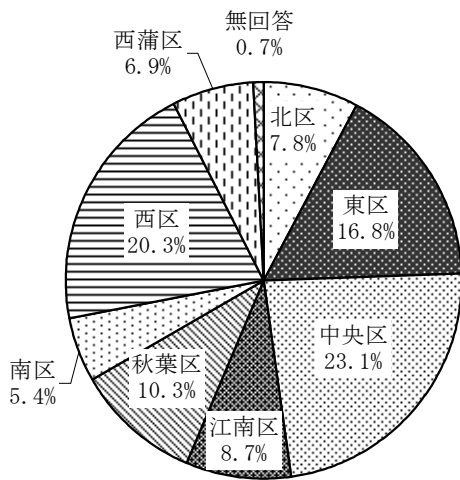
◆年齢別



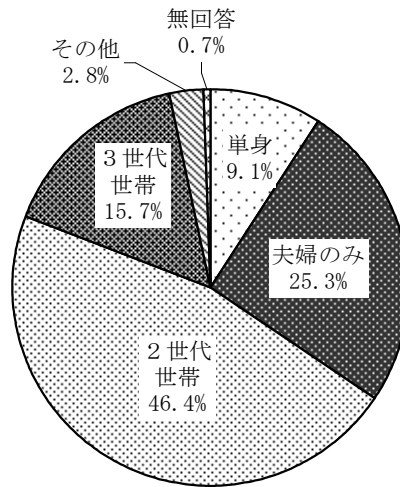
◆職業別



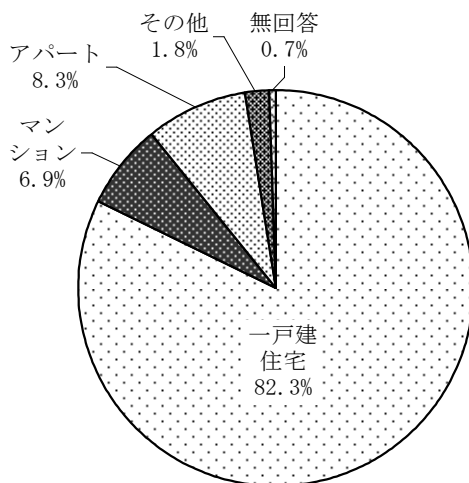
◆地区別



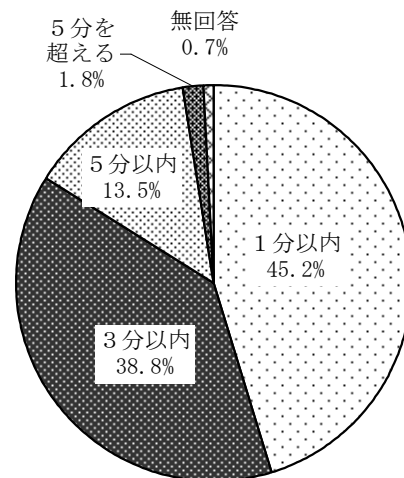
◆世帯構成別



◆住居形態別



◆ごみ集積場までの所要時間別



Ⅱ 調 査 結 果

1. 家庭ごみの分別及び有料指定袋制について

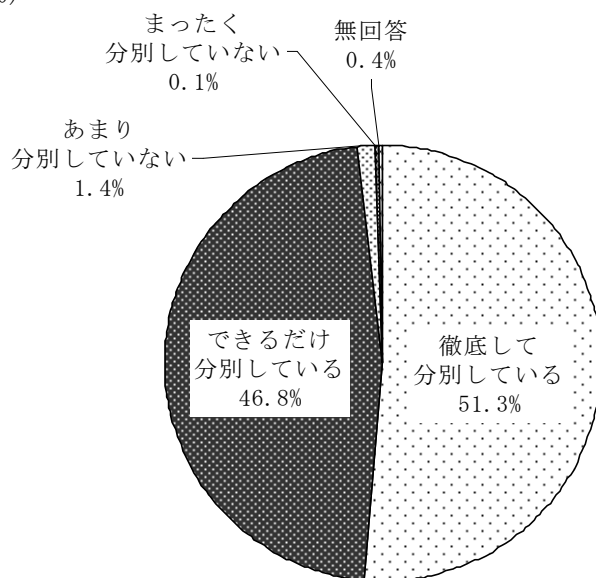
(1) ごみ分別への取組み状況

問8 ごみ分別への取組み状況についてお伺いします。

あなたの分別の取組状況について最も近いと思われるのは、次のどれにあたりますか。

(○は1つだけ)

全 体(n=1,970)



————— 半数以上が「徹底して分別している」 —————

【全体結果】

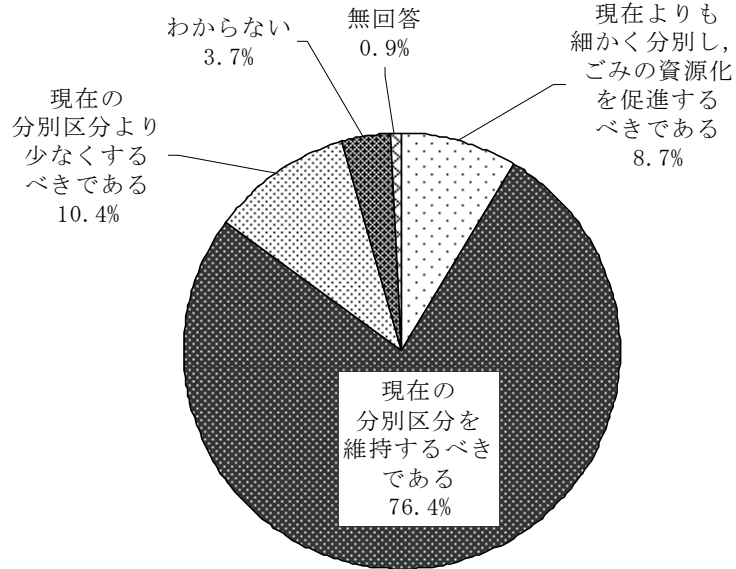
ごみ分別への取組み状況については、「徹底して分別している」(51.3%)の割合が半数を超えている。「できるだけ分別している」(46.8%)も半数弱を占めている。

(2) 今後のごみ分別制度について

問9 今後のごみ分別制度についてお伺いします。

これからの分別制度についてあなたの考えにもっとも近いと思われるのは、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

全 体(n=1,970)



——— 4分の3が「現在の分別区分を維持するべきである」と回答 ———

【全体結果】

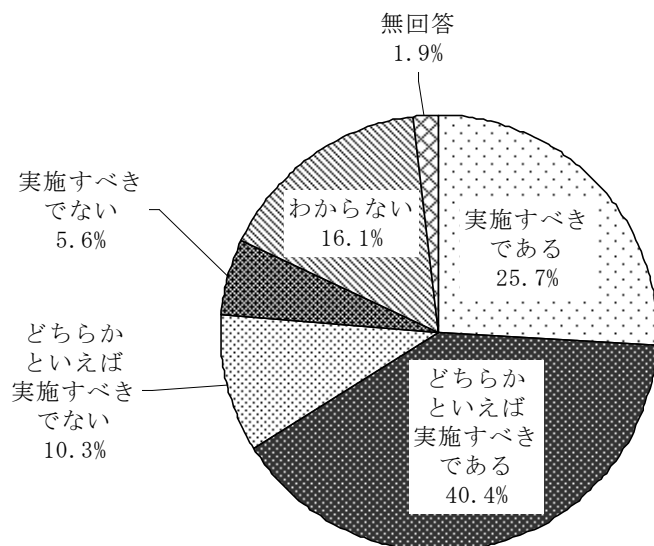
今後のごみ分別制度については、「現在の分別区分を維持するべきである」(76.4%)が最も多い。

(3) 『生ごみ』の分別について

問10 『生ごみ』の分別についてお伺いします。

今後、燃やすごみを生ごみとその他の燃やすごみに分けて収集し、エネルギー資源等に有効活用することについて、どのように思いますか。(○は1つだけ)

全 体(n=1,970)



————— 4割強が「どちらかといえば実施すべきである」 —————

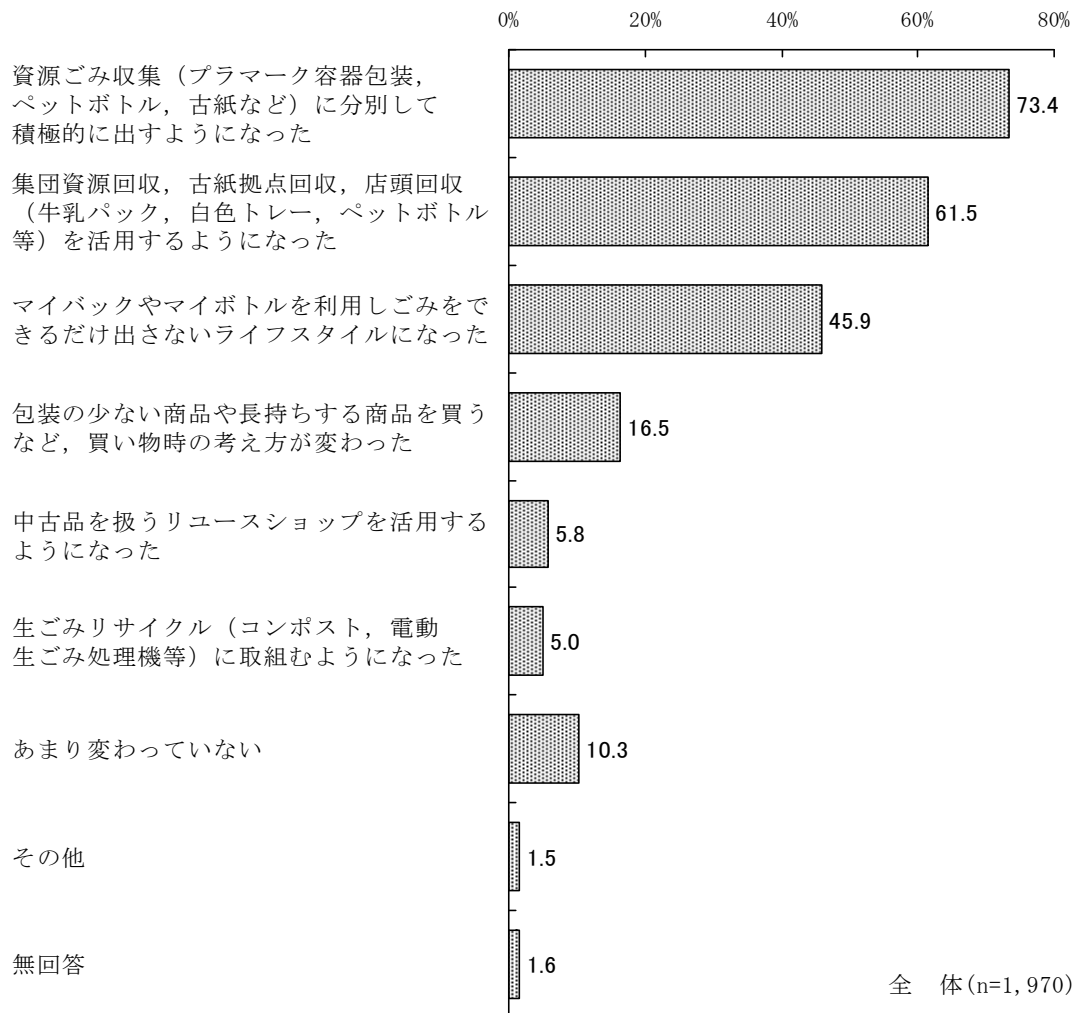
【全体結果】

『生ごみ』の分別については、「どちらかといえば実施すべきである」(40.4%)の割合が最も高くなっている。次いで、「実施すべきである」(25.7%)が2割強で続いている。

(4) ごみの出し方などについて

問11 ごみの出し方などについてお伺いします。

有料指定袋制が導入されてから、ごみの出し方やごみの減量・リサイクルに関する
取り組み方が変わりましたか。(〇はいくつでも)



—— 「資源ごみ収集に分別して積極的に出すようになった」が7割強 ——

【全体結果】

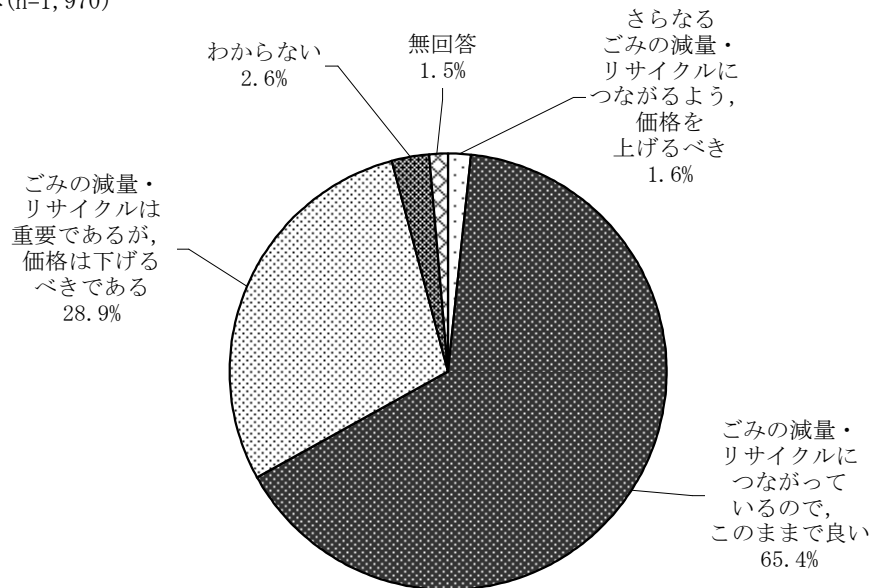
ごみの出し方について（複数回答）は、「資源ごみ収集に分別して積極的に出すようになった」（73.4%）が最も高くなっている。以下、「集団資源回収、古紙拠点回収、店頭回収を活用するようになった」（61.5%）、「マイバックやマイボトルを利用しごみをできるだけ出さないライフスタイルになった」（45.9%）の順で続いている。

(5) 有料指定袋の価格について

問 12 有料指定袋の価格についてお伺いします。

現在の価格について、どのようにお考えになりますか。(○は1つだけ)

全 体(n=1,970)



—— 「ごみの減量・リサイクルにつながっているの、このままで良い」
が6割強 ——

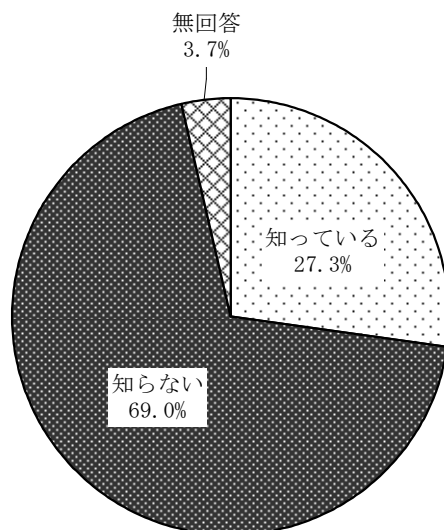
【全体結果】

有料指定袋の価格については、「ごみの減量・リサイクルにつながっているの、このままで良い」(65.4%)の割合が最も高く、次いで、「ごみの減量・リサイクルは重要であるが、価格は下げるべきである」(28.9%)となっている。

(6) 家庭ごみ有料化による収入の市民還元について

問13 家庭ごみ有料化による収入の市民還元についてお伺いします。新潟市では、家庭ごみによる収入を3つの分野の事業に市民還元していますが、このことをあなたは知っていますか。(〇は1つだけ)

全 体(n=1,970)



7割弱が「知らない」と回答

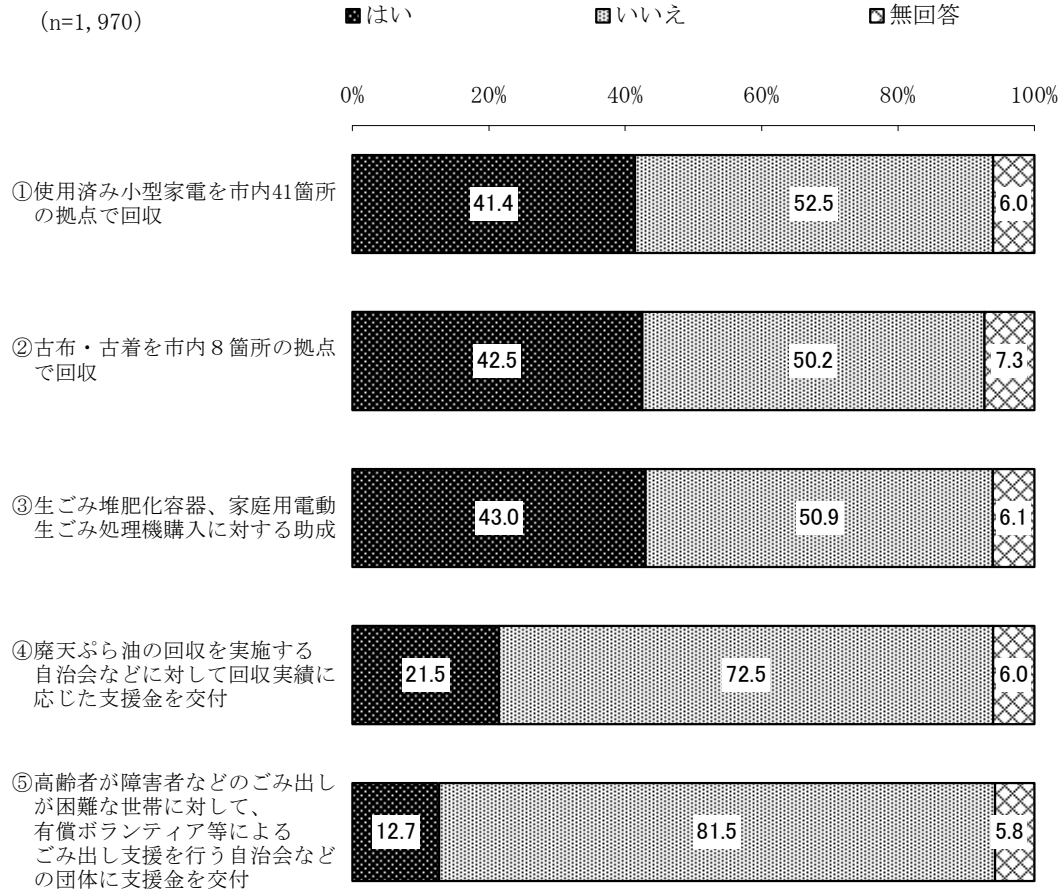
【全体結果】

家庭ごみ有料化による収入の市民還元については、「知らない」(69.0%)が7割弱を占めている。「知っている」(27.3%)は3割弱にとどまっている。

(7) 市民還元事業について

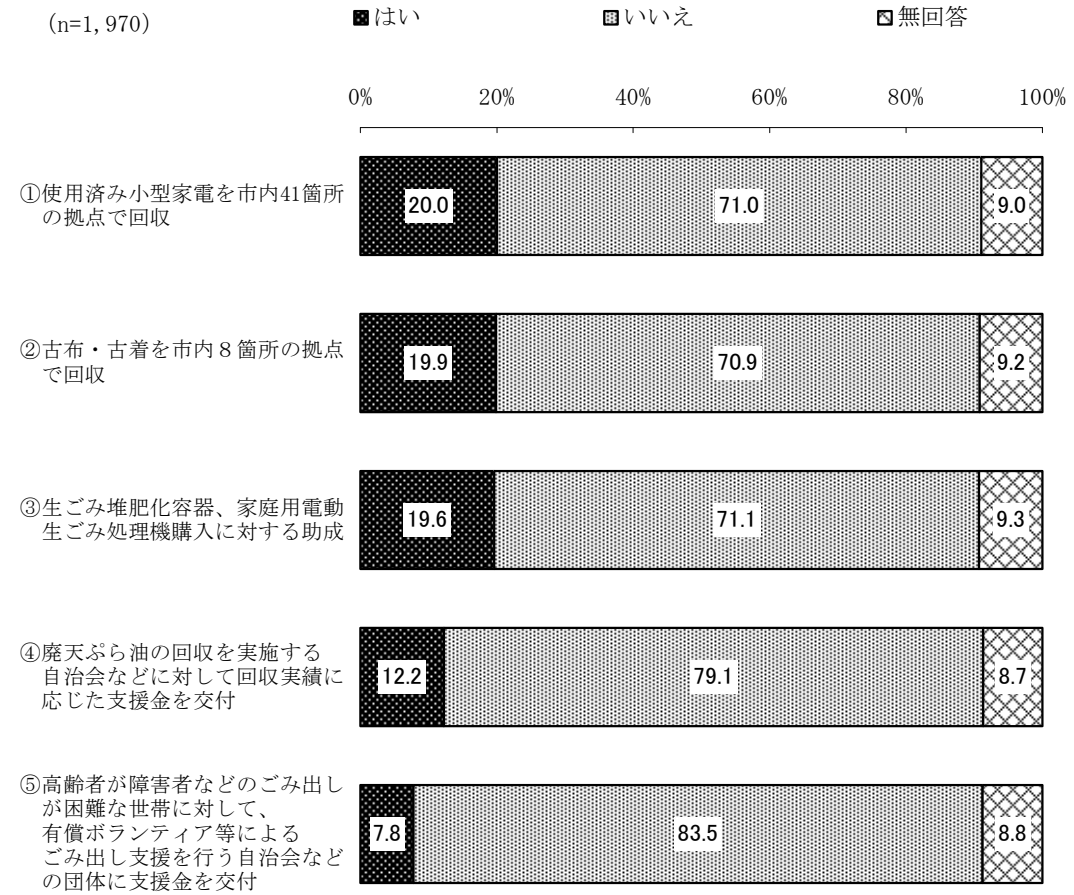
問 14 市民還元事業についてお伺いします。

(1) 事業の内容を知っていましたか。



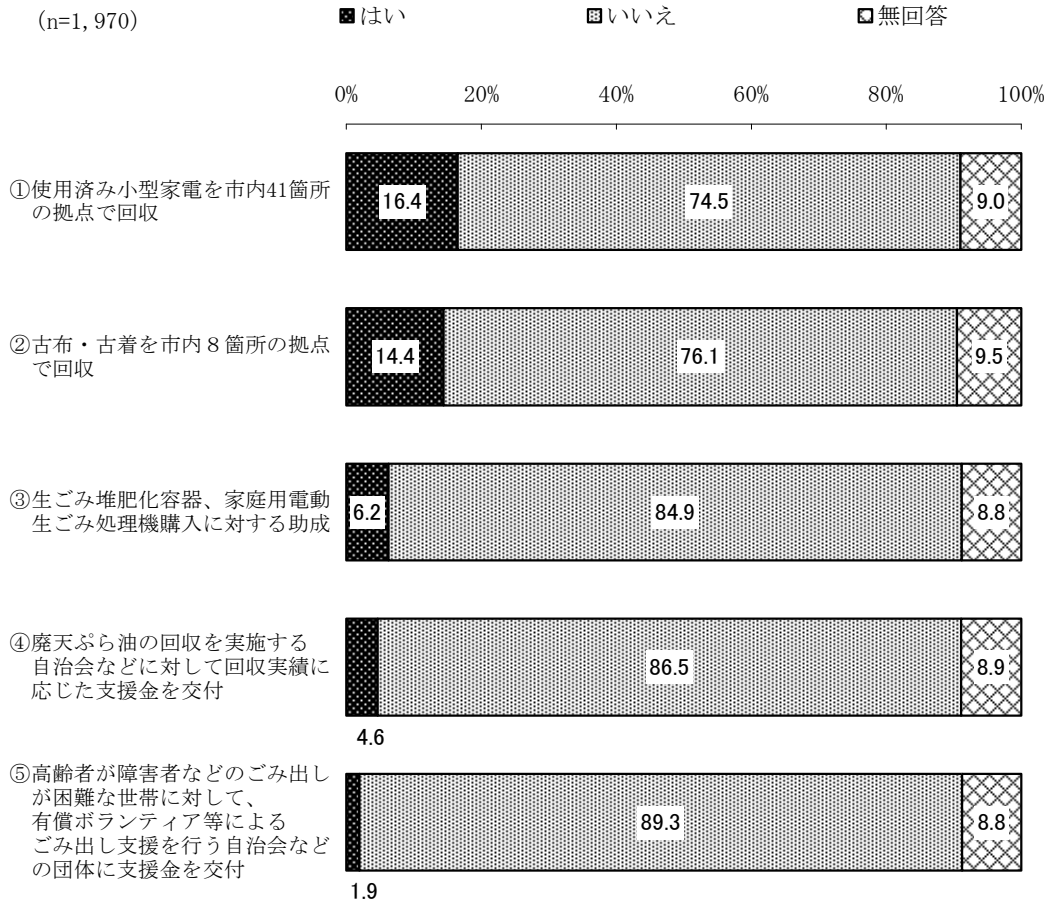
問 14 市民還元事業についてお伺いします。

(2) 事業に有料化財源を活用していることを知っていましたか。



問 14 市民還元事業についてお伺いします。

(3) 事業を活用したことがありますか。



「①使用済み小型家電を市内41箇所の拠点で回収」

「②古布・古着を市内8箇所の拠点で回収」

「③生ごみ堆肥化容器、家庭用電動生ごみ処理機購入に対する助成」

の内容認知度、有料化財源活用の認知度が高く、

活用度は「①使用済み小型家電を市内41箇所の拠点で回収」

「②古布・古着を市内8箇所の拠点で回収」が多い

【全体結果】

市民還元事業の認知度については、『③生ごみ堆肥化容器、家庭用電動生ごみ処理機購入に対する助成』（43.0%）が最も高くなっている。次いで、あまり差がなく『②古布・古着を市内8箇所の拠点で回収』（42.5%）、『①使用済み小型家電を市内41箇所の拠点で回収』（41.4%）となっている。

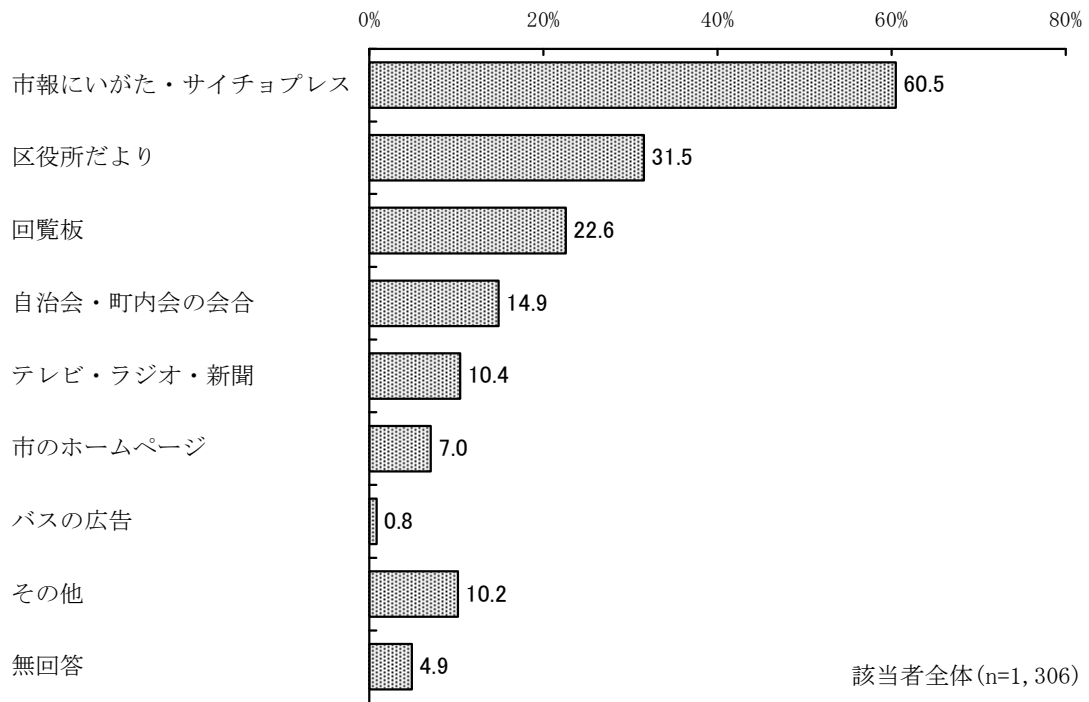
また、事業に有料化財源を活用していることの認知度については、『①使用済み小型家電を市内41箇所の拠点で回収』（20.0%）が高く、ほぼ同率で『②古布・古着を市内8箇所の拠点で回収』（19.9%）、『③生ごみ堆肥化容器、家庭用電動生ごみ処理機購入に対する助成』（19.6%）が続いている。

事業の活用度としては、『①使用済み小型家電を市内41箇所の拠点で回収』（16.4%）が高くなっている。次いで、『②古布・古着を市内8箇所の拠点で回収』（14.4%）が高くなっており、その他の事業は1割に満たない。

一方で、市民還元事業の認知度、事業に有料化財源を活用していることの認知度、事業の活用度ともに割合が最も低いのは、『⑤高齢者が障害者などのごみ出しが困難な世帯に対して、有償ボランティア等によるごみ出し支援を行う自治会などの団体に支援金を交付』となっており、いずれも8割を超えている。

(問 14 (1) で事業の内容を1つでも知っているとお聞きします。)

問 14-ア あなたは、事業の内容についての情報を何から入手しましたか。(〇はいくつでも)



6割強が「市報にいがた・サイチョypress」と回答

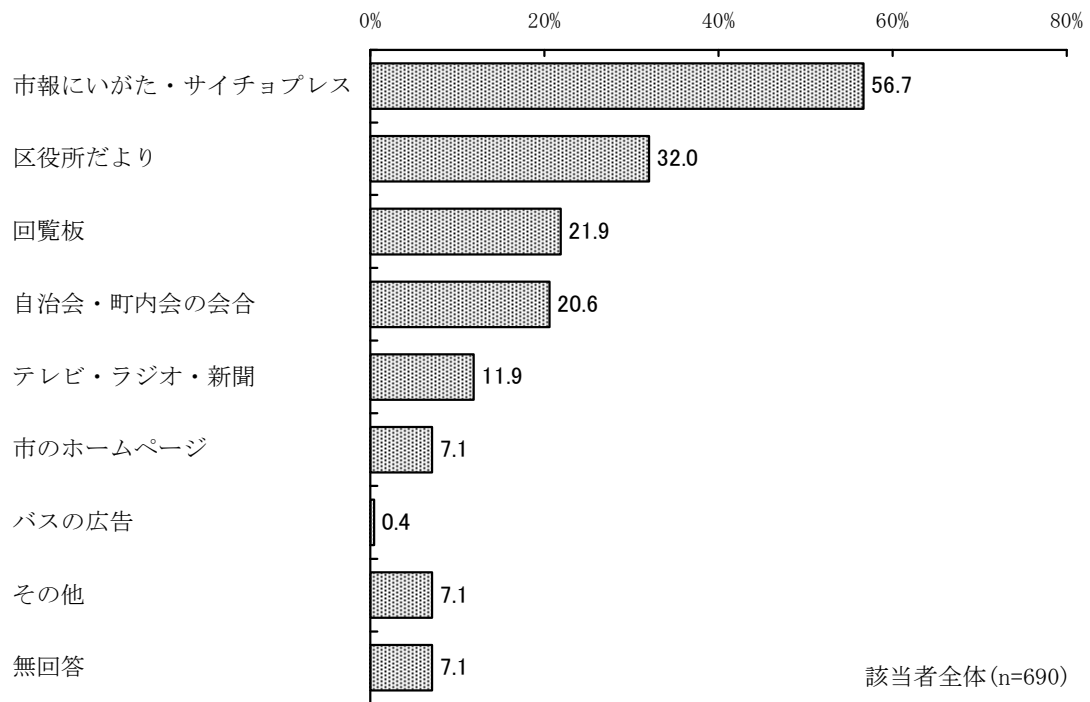
【全体結果】

事業内容についての情報の入手先（複数回答）については、「市報にいがた・サイチョypress」（60.5%）が最も多く、「区役所だより」が31.5%で続いている。

(問 14 (2) で有料化財源を活用していることを1つでも知っているとお聞きします。)

問 14-イ あなたは、有料化財源を活用しているという情報を何から入手しましたか。

(○はいくつでも)

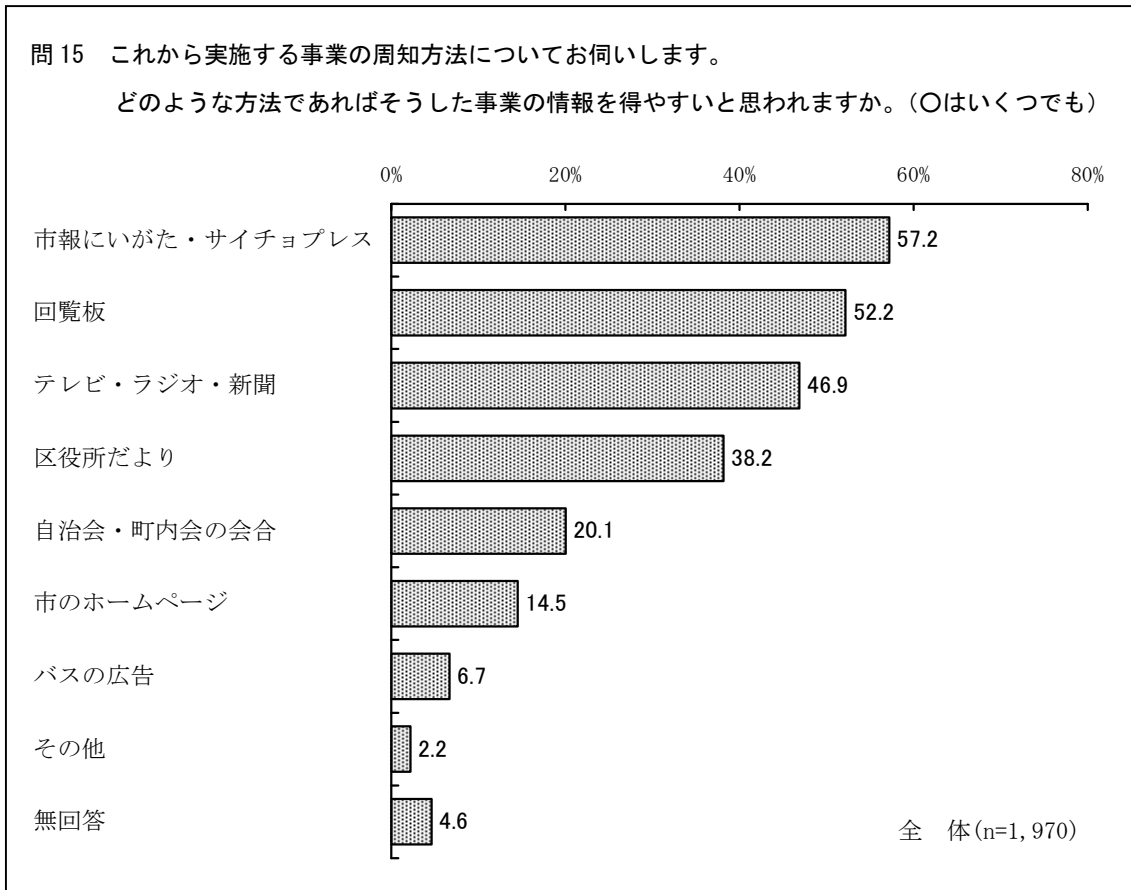


6割弱が「市報にいがた・サイチョypress」と回答

【全体結果】

有料化財源を活用しているという情報の入手先(複数回答)については、「市報にいがた・サイチョypress」(56.7%)の割合が最も高い。「区役所だより」が32.0%で続いている。

(8) これから実施する事業の周知方法について



6割弱が「市報にいがた・サイチョypress」と回答

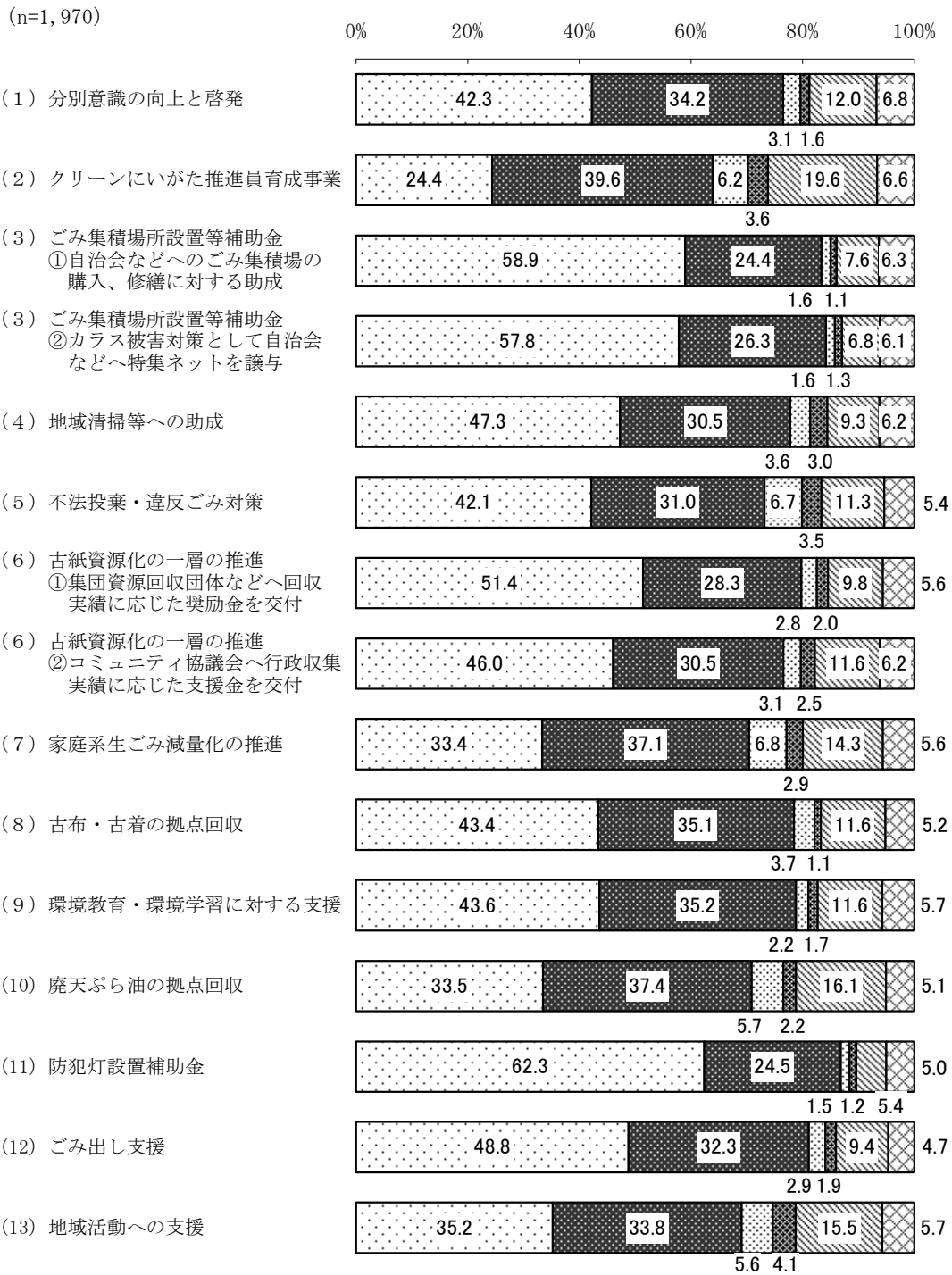
【全体結果】

これから実施する事業の周知方法（複数回答）については、「市報にいがた・サイチョypress」（57.2%）の割合が最も高くなっている。以下、「回覧板」（52.2%）、「テレビ・ラジオ・新聞」（46.9%）、「区役所だより」（38.2%）が続いている。

(9) 市民還元事業について

問16 市民還元事業についてお伺いします。
 今後、有料化財源を活用して実施すべきと思われますか。

- 実施すべき
- ▣ どちらかといえば実施すべきでない
- どちらかといえば実施すべき
- ▤ 実施すべきでない
- わからない
- 無回答



【全体結果】

市民還元事業について、「実施すべき」の割合は、「(11) 防犯灯設置補助金」(62.3%)が最も高い。以下、「実施すべき」の割合は、「(3) ごみ集積場所設置等補助金 ①自治会などへのごみ集積場の購入、修繕に対する助成」(58.9%)、「(3) ごみ集積場所設置等補助金 ②カラス被害対策として自治会などへ特殊ネットを譲与」(57.8%)の順で高くなっている。

また、市民還元事業について、「実施すべき」と「どちらかといえば実施すべき」を合わせた割合についてみると、「(11) 防犯灯設置補助金」(86.9%)の割合が最も高い。以下、「(3) ごみ集積場所設置等補助金 ②カラス被害対策として自治会などへ特殊ネットを譲与」(84.2%)、「(3) ごみ集積場所設置等補助金 ①自治会などへのごみ集積場の購入、修繕に対する助成」(83.3%)、「(12) ごみ出し支援」(81.1%)が8割台で続いている。

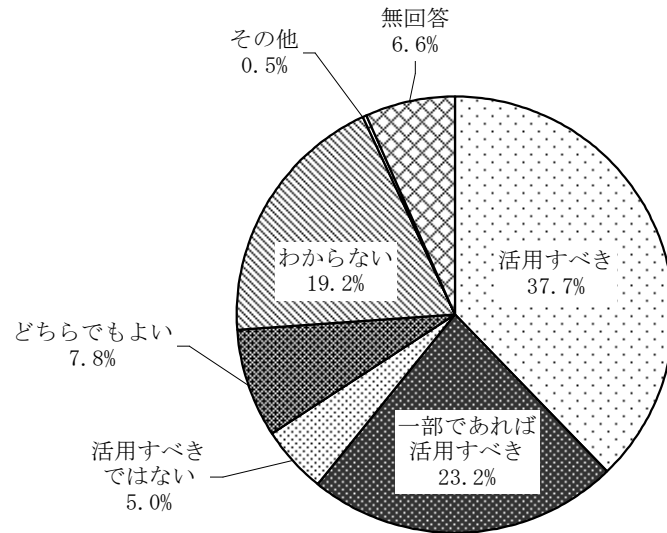
一方で、「実施すべきでない」と「どちらかといえば実施すべきでない」を合わせた割合についてみると、「(5) 不法投棄・違反ごみ対策」(10.2%)が最も高い。

(10) 有料化財源の新たな活用方法について

問 17 有料化財源の新たな活用方法についてお伺いします。

収集したごみや資源を新たな資源やエネルギーとして利活用するための処理経費や施設の運営管理経費に有料化財源を活用することについて、どう思われますか。

全 体 (n=1,970)



4 割弱が「活用すべき」と回答

【全体結果】

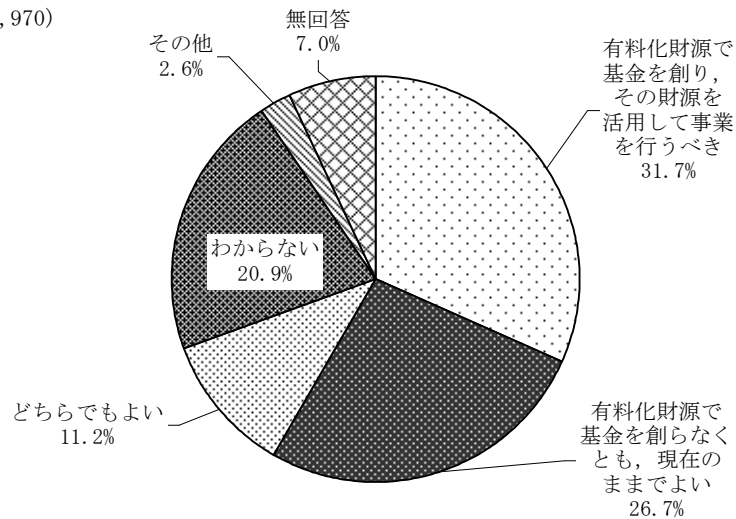
有料化財源の新たな活用方法については、「活用すべき」(37.7%)の割合が最も高く、「一部であれば活用すべき」(23.2%)と合わせると、6割強を占めている。

(11) 有料化財源の活用方法として基金による運用について

問 18 有料化財源の活用方法として基金による運用についてお伺いします。

今後、基金を創り、その財源を活用して事業を行なうことについて、どのように思われますか。(○は1つだけ)

全 体 (n=1,970)



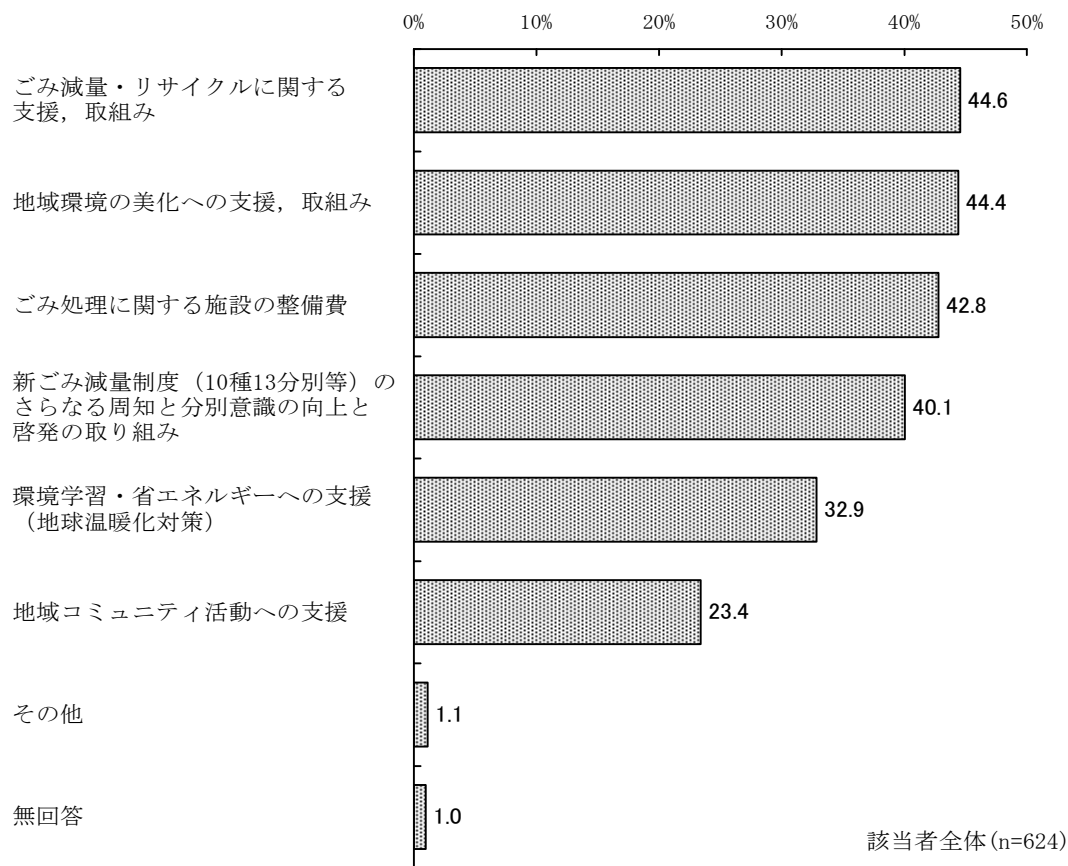
—「有料化財源で基金を創り、その財源を活用して事業を行うべき」が3割強 —

【全体結果】

有料化財源の活用方法として基金による運用については、「有料化財源で基金を創り、その財源を活用して事業を行うべき」(31.7%)が3割強を占めている。次いで、「有料化財源で基金を創らなくとも、現在のままでよい」(26.7%)が3割弱となっている。

(問18で「1. 有料化財源で基金を創り、その財源を活用して事業を行うべきと答えた人」にお聞きします。)

問18-ア あなたは、どのような事業を行うべきと考えますか。(〇はいくつでも)



「ごみ減量・リサイクルに関する支援, 取組み」が最も多い

【全体結果】

希望する事業（複数回答）については、「ごみ減量・リサイクルに関する支援, 取組み」（44.6%）が最も多く、「地域環境の美化への支援, 取組み」（44.4%）、「ごみ処理に関する施設の整備費」（42.8%）、「新ごみ減量制度（10種13分別等）のさらなる周知と分別意識の向上と啓発の取組み」（40.1%）が4割台が続いている。

(12) 自由回答まとめ

問16-ア 有料化財源を活用して実施すべきとお考えになる事業	合計 127 件
1. ごみの分別意識をもっと啓発してほしい。(特に高齢者や小学生から大学生まで)	16
2. 地球温暖化対策に使ってほしい。(緑化の推進, 二酸化炭素排出抑制など)	9
3. 高齢者への支援に充ててほしい。	9
4. 古布・古着の回収拠点を増設してほしい。	6
5. 有料化財源の市民還元について知らなかった。市はもっと情報発信してほしい。	6
6. ごみ集積場のカラス対策を充実してほしい。	4
7. ごみ出し支援を, もっと普及させてほしい。	4
8. 地域の美化活動へ, もっと充ててほしい。	4
9. 団体, コミュニティへの支援金は実施すべきではない。(もしくは少額にすべき)	4
10. 有料化財源を活用することは間違いである。	4
11. 指定袋の価格を下げる, 又は無料にしてほしい。	3
12. 廃てんぷら油の回収を推進してほしい。	3
13. 子どもたちの将来のためになる事業に充ててほしい。	3
14. ごみの収集日をもっと増やしてほしい。(収集日を減らすことが無いように)	3
15. 地域コミュニティ活動へもっと活用してほしい。	2
16. 有料ごみ袋が買えない, ごみ出しができない, といった弱者への対策に充ててほしい。	2
17. 上記以外の実施すべき事業としての提案。 <ul style="list-style-type: none"> ・リユースできる家電やPCをボランティア団体に寄付。 ・小・中学校でのペットボトル回収、事業所でのペットボトル回収及びその買取。 ・乾電池回収BOXを増設。 ・飲食店等に対するフードロス対策の啓発。 ・産廃の通報強化, 及び事業省への啓もう活動強化 ・電動生ごみ処理機助成額の増額。 ・基準に適した焼却炉等の助成。 ・小型家電回収場所の増設 ・ごみ袋の質を良くしてほしい。(破けないようにしてほしい) ・小学校のリサイクル活動への補助。 <p style="text-align: center;">等</p>	24
18. その他 (ごみ問題に対して思っていること, 実践しているごみへの取組み, 個人的な意見, など)	21

問19 新潟市のごみ処理、リサイクルに関してのご意見	合計 395 件
1. 有料指定袋について	合計 75
・袋がすぐに破れるので、もっと丈夫にしてほしい。(特に20ℓ以下の袋)	40
・ごみ袋の値段が高い。もっと値段を下げしてほしい。	22
・袋のサイズを再検討してほしい。(7.5ℓや15ℓを作ってほしい)	4
・袋が取り出しにくいので改良してほしい。(長岡市のように取り出しやすく)	3
・傘、ラケットを入れられる袋の形にしてほしい。(30ℓでは大きすぎてもったいないので)	3
・燃やすごみ袋の販売を、コンビニやスーパーで1枚単位でも販売してほしい。	2
・子供が生まれた世帯へゴミ袋の支給があるが、サイズを希望できたらもっと良い。	1
2. ごみの分別をもっとわかりやすくしてほしい。	30
3. 市はもっと情報発信してほしい。 ・ごみの現状、リサイクルの現状、ごみの処理方法 等	30
4. ごみの収集について。 ・収集回数を増やしてほしい。 (プラスチック包装を週1⇒週2, ビン・缶を隔週⇒毎週, 燃やさないごみ月1⇒隔週) 等	30
5. ごみ分別意識をもっと啓発してほしい。 ・単身者アパートの人たちの分別意識を向上させてほしい。 ・こどもの頃から、ごみ問題を学習する機会を増やしてほしい。 等	23
6. 「有料化財源の活用方法」について ・基金をつくる前に、収入を減らす方法を考えてください。 ・有料化財源を活用して、市民の喜ぶ事業をしてほしい。 等	19
7. 今回の「アンケート調査」について ・読みやすく、わかりやすいアンケートにしてほしい。 ・意識を見つめ直す機会になった。 等	17
8. 「ごみ処理、リサイクル」に関しては、現状のままでよい。	13
9. 古布・古着の拠点回収場所をもっと増やしてほしい	12
10. ごみの分別区分を、これ以上増やさないでほしい。	12
11. 「生ごみ」について ・良い方法があるなら、生ごみ分別収集も良いと思う。 ・電動生ごみ処理機の補助金額を増額してほしい。 ・バイオガス発電の情報を周知してほしい。 等	8
12. ごみ集積場の違反ごみや持ち去りを取り締まってほしい。	5
13. 不法投棄のパトロールをしてほしい。	5
14. 「ごみ処理施設」について ・焼却能力の高い設備を備えてほしい。 等	4

15. 「ごみ集積場」について ・どこのごみ集積場でも捨てられるようにしてほしい。 ・移動式ではなく、定位置のごみ集積場にしてほしい。 等	4
16. 「ごみ処理、リサイクル」に関して個人的に日頃から行っていることについて ・生ごみはなるべく畑に穴を掘って埋めている。 ・コンポストを使い、堆肥を作っている。 等	3
17. 市民参加型イベント（ごみ拾い、美化活動等）をもっと増やしてほしい。	2
18. その他	合計 103
(1) 「ごみ処理、リサイクル」に関しての質問について ・全く分別せずに捨てている住民はまだ多いが、それに対しては市はどう考えているのか？ ・スーパーの食品を入れる皿はごみになる。良い方法はないか？ ・処理施設は一般見学できますか？ 等	11
(2) 「ごみ処理、リサイクル」に関しての個人的感想について ・ゴミ処理、リサイクル等できる限り協力していきたい。 ・分別は大切だが、弱者や高齢者にとっては大変です。 等	50
(3) 「ごみ処理、リサイクル」に関しての具体的提案について ・「出た」ごみの処理も大切だが、「出る」ごみの減量対策も進めるべき。 (商品包装の簡素化など) ・もっとリサイクルの拠点場所を増やしてほしい。 等	42